

建て方時間を大幅短縮

プライムトラス

「ユニットトラス」で特許

プライムトラス（東京都、藤田史朗社長）は、トラックユニットに積載でき、現場での建て方時間を大幅に短縮できる「ユニットトラス」の提案を強化する。トラスを3～4本接合した「PUT（ブット）」（Prime Unit Truss）工法で作られている屋根材で、2月下旬に特許を取得した。住宅や非住宅を問わず活用できる。

延べ床面積40坪の場 安全性を確保しやすい合、1棟分のユニットだけでなく、屋根の施工時に複数人で仮固定を4トラックユニットにする手間が掛からない。これにより、従来より現場まで搬送で半日ほど掛かっていた立するため、周囲への現場でのクレーン作業



トラスを3～4本接合した「PUT（ブット）」（Prime Unit Truss）工法で製作

トラスは3ユニット

開発に携わった樽本

から上棟までの建て方時間を30分程度に短縮

懸念されている。従来

も大幅に削減できる。

という。

できる。

近年、建設現場では、大工などの職人不足により、施工の遅延や施工の精度の低下が懸念されている。従来

のトラスは1本ごとに起立しては起立しにくく、何本も立てて並べる場合、合間を転び留めて固定するため、その分厚みが増してしまっ

た。ユニットトラスは2年ほど前から試験運用を始め、大型非住宅向けで10トラックユニットに積み込んで搬送することにも成功した。昨年6月に特許を出願し、今年2月に登録された。

4本のトラスを棟木と鼻隠しで貫通している。これにより施工時のずれの抑制や起立性を確保したことに加え、寸法精度を向上させた。さらに、トラスをクレーンで1本ずつ持ち上げる場合と比べ、クレーン作業時間も大幅に削減できる。

敏明執行役員は「現場の人手不足が年々悪化している。ユニットトラスの活用が住宅や非住宅を問わず一般的な工法となつて、現場作業の効率化につながることに期待している」という。

日刊
木材
新聞